

【様式1】

年 月 日

地方独立行政法人大牟田市立病院
理事長 様

ボ ラ ン テ ィ ア 申 込 書

地方独立行政法人大牟田市立病院ボランティアの心得を遵守し、以下のとおりボランティアの申し込みを行います。

1. ボランティアの具体的な内容について

--

2. 希望日時（例：毎週月・水・金曜日の午前10時から午後1時まで）

--

3. 団体参加者氏名（個人の場合は4に記入願います。）

--

4. 代表者氏名、住所及び連絡先

代表者氏名
住所
連絡先

*裏面のボランティアの心得を必ずご一読ください。

地方独立行政法人大牟田市立病院ボランティアの心得

【活動の基本的なあり方】

病院ボランティアの活動は、何よりも「患者さんのため」と言われるものですが、同時に「ボランティア活動者自身のため」となり、かつ「病院のため」にもなるものでなければなりません。

病院には病気やけがをした患者さん、また、お見舞いに来院する方も大勢います。誰もが多少の差はあれ、心身ともに苦痛や不安を持っています。

そのような苦痛を少しでも癒してあげたいという気持ちが、病院ボランティアの原点ではないかと思えます。病院ボランティアは、あくまでも「医療行為を行わない病院業務の補助者である」ということ、「その活動が患者さんの安静と治療の妨げになってはならない」ということを十分理解して下さい。

【施設の特特殊性を理解する】

病院といっても、その規模、構造設備などは病院によってそれぞれ異なります。しかし、どの病院においても各診療科、薬剤部、放射線部、検査部、栄養部門などの複数の部門があり、多くの職員、委託関係者がそれぞれの専門分野に分かれて仕事をしています。

病院ボランティアを志す皆様には、病院という施設の特特殊性をよく理解されて、病院内部についても一応の予備知識を持って下さい。

【ボランティア活動の役割と責任を自覚する】

ボランティア活動において、よく問題になることは、「自分は善意でやっているのだから」という意識が過剰になって、自分の価値観を押し付けてしまうことです。アドバイスは危険だということも知っておく必要があります。また、「何も報酬をもらっている訳ではないから」ということで自分の都合で「勝手な行動をとる」方が見受けられることです。先にも述べたように病院には、不安な思いを持つ患者さんと、その家族の方々がいらっしゃいます。ボランティア活動中は気持ちを集中し、しっかり状況を見極めないと、善意で取った行為が逆に反感をかわれトラブルになることもあります。

病院ボランティアは、病院の中で一つの役割を持つこととなります。いったん引き受けた以上多少の困難があってもやりとおす覚悟を持ち、その時々状況を見極めて果たすべき責任を自覚して活動につなげて下さい。

【個人情報の保護について十分に配慮する】

ボランティア活動を通じて知りえた個人情報については、個人情報の保護の重要性を十分に認識する必要があることから、個人の権利利益を侵害することが無いよう個人情報を適切に取り扱って下さい。

知りえた個人情報は他に漏らすことがないようにし、ボランティア活動が終了した後についても同様に取り扱いして下さい。